



News Letter

No.21

2006年8月1日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17 403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

レイバーネットの腕章つけて取材

記者魂がわいてきた

松浦 望(運営委員・NTT関連労組)



レイバーネットにプレス腕章が出来ました。デザインがいい。気に入って集会につけていってみました。

おどろいた。今までとまわりの反応が違う。以前は「レイバーネット?」という感じが少なく、いくら迅速に詳細にレポートしても、ある程度しか知られていなかった感じでした。しかしこの間の動画発信(最近だとメーデー弾圧の映像はインパクトがあった)や、海外情報、共謀罪のときの素早い報告などが効いたようです。アクセス数が増えていくとともに、集会でも反応がある人が増えていきました。

そんなときにタイミングよく腕章が出来て、それによってレイバーネットが来ていることを知られることができました。やっぱり腕章をつけていると「レイバーネット見えていますよ」なんて声をかけられるようになって嬉しい!です。

最近の集会では露骨に腕章をつけている報道陣なんて少ないのだが、つけていると自分自身も何か自覚が出るというか、記者魂というか(笑)集会も違っ

た角度で聞けて面白い。

まだまだ運動系の集会は報道されず、苦しい状態が続いています。日本国内も市民メディアが広がつつあるが、これからです。レイバーネットはそのなかで一定程度的実績を上げてきていると思います。そう自負して、これからも発信をしていきたいです。

皆さんも、是非一度記者を試してみは? 腕章をつけて。

腕章貸出中。会員はどなたでもOKです。
labor-staff@labornetjp.orgまで。



ウェブサイトのアクセス1日1000をこえる

たたかうことと伝えることは車の両輪

最近、レイバーネットのウェブサイトのアクセスが、実数で1日1000をこえるようになった。ずっと500前後を推移していたから、ここ数カ月で大きく伸びたことになる。アクセス増のきっかけとなったのが、「4・30メーデー弾圧事件」と「共謀罪反対運動」の報道だった。

4・30メーデーとは、フリーター労組などが主催した若者たちの「自由と生存のメーデー」で、音楽を鳴らして踊りながらデモをするサウンドデモだった。わずか100人ほどのデモだが、警察は自由で拡がりのあるこのデモを極端に恐れ、この日、音楽DJを逮捕するという暴挙に出た。そしてサウンドカーをその場で押収してしまった。レイバーネットの会員がこの様子をビデオで撮影しており、ウェブサイトで公開することになった。

<次頁へ続く>

交流ビアパーティのご案内

ますます「レイバーネット」が必要とされる時代になりました。会員同士の交流、そしてレイバーフェスタをはじめ今年後半の運動について、大いに語り合しましょう。非会員の方も歓迎です。飛び入りゲストがあるかも・・・。

8月25日(金)午後7時～

会費 4000円(料理フルコース+飲み放題)

*参加希望者は事前に申し込んでください。

ベトナム料理店「インドシナ」

03-3815-4190

http://homepage3.nifty.com/indoc/

(地下鉄「茗荷谷」駅から徒歩3分)

シェフのチンさんはベトナム共産党要人の専属コックでした。



共謀罪反対行動に参加して

絶対に負けられない闘い

A.H (出版労働者)

私が共謀罪反対行動に参加しはじめたのは、5月の連休あけに組合のメーリングリストで国会前行動への参加の呼びかけがあったのがきっかけだった。もともと、争議をしていた頃から破防法・盗聴法など、関連法案についての反対運動には参加してきていたが、共謀罪については仕事に追われてそれまで参加できていなかった。

私が入っている出版ネッツという労働組合は出版産業でフリーランスで働く者の労働組合だ。ライター、イラストレーター、デザイナー、編集者、校正者などがある。これまでも表現の自由が侵害されるような問題には反対運動をしてきていたが、今回は「共謀罪に反対する表現者たちの会」にも入っている組合員が特に熱心に活動していた。

私が国会前に行った時は、「今日、明日にでも強行採決か」という事態だったが、行動に参加しているのは100数名しかいなかった。労働組合も争議団以外はほとんどいない。労働組合こそが、共謀罪のえじきにされるというのに！「表現の自由」どころの話ではなく、団結権さえ侵害される法案だ。

今回はかろうじて通過はまぬがれたが、共謀罪法

案は秋の国会で継続審議される。教育基本法も国民投票法案も憲法改正も共謀罪法案が通ってしまったら、反対運動すべてに弾圧がかける可能性もある。また、先日社会保険庁職員がビラ撒きをした事で国家公務員法違反の不当判決が出た。公安警察は職員を一か月にわたって尾行・盗聴の違法捜査をしていたという。共謀罪が成立していても、違法捜査は行われ、裁判でも違法捜査は事実上認められてしまっている。

今の運動が未来の社会を決める。「絶対に負けられない闘い」はこれからだ。



話題になった「アンチ共謀罪ガールズ」

<PIからの続き>

この動画の反響は大きかった。音楽を鳴らしてデモしているだけなのに、機動隊がデモをすっぱり取り囲み、襲いかかるそのシーンを見て、「ひどすぎる」



不当な弾圧を受けた4.30メーデー

という声がかたたくまに広がった。動画のアクセスは数日で1万をこえた。そして、急速に反対運動が盛り上がり、3名の逮捕者も起訴されずに早期に釈放された。レイバーネットの動画報道が大きな役割を果たしたのだ。

5～6月は、共謀罪をめぐる国会内外での激しい攻防があった。強行採決の危険が何度もあったが、運動側の必死の努力でかろうじてストップをかけた。力関係で圧倒的に不利ななかで採決させなかったのは、共謀罪のひどい中身を広く知らせ、世論の流れを変えていったことだった。ここでもインターネットが主役だった。とくにジャーナリスト有志が始めた「共謀罪TV」のサイトは、国会内外の動きやさまざまな人々の声を動画で伝え、運動を大いに盛り上げるようになった。レイバーネットのサイトでは、「共謀罪を阻止しよう」のバナーを掲げ、共謀罪に関する情報を連日集中して掲載した。反対運動に参加している会員による「写真速報」や、有益な情報をリンクで提供するなど、2ヶ月で約70本の記事を配信してキャンペーンを展開した。

今回の「4・30」「共謀罪」の2つの取り組みは、レイバーネットの実践経験としても貴重なものになった。

「現場性・速報性・多様性」を活かして

レイバーネットの報道は、試行錯誤を繰り返しながら、今の形が出来てきた。その特徴は、まず「現場性」である。現場にいる人、たたかっている人自身がレポートするというスタイルだ。活きた情報はそこから生まれてくる。次に「速報性」である。きょうの出来事はその日のうちにはネットに載る。しかも写真がついている。これが魅力になっている。そして、もうひとつは「多様性」である。ある一つの事柄に関して、多くの個人の報告・感想が載る。つまり、だれか一人が「公式」に報告して終わり、ということではなく、何人もの人がそれぞれの視点からコメント・情報を寄せる形である。読み手は、その多様なレポートに触れることで、より深く理解することができる。

もちろん、課題も多い。報道の意味をもっと深めるような「論評」もほしい。情報が首都圏に偏っていたり、カバーしている運動領域も狭い。通信員は圧倒的に不足している……。改善点は多々ある。しかし、今回の「4・30メーデー弾圧事件」と「共謀罪反対運動」の報道を通して、たたかうことと伝えることは車の両輪であることを、改めて確認することができた。アクセスの大幅アップを契機に、より力強い「メディア」としてステップアップしていきたいものだ。

(松原 明)

鳥井一平氏の講演を聴いて 低賃金の人から奪うのは「尊厳と価値」

小松玲子(出版ネッツ)

< 7月例会 移住労働者はいま >

7月4日、飯田橋SKプラザ。参加者は29名。全統一労組の鳥井書記長(写真)が、約130万といわれる移住労働者の現状、そして岐阜県で時給300円でこき使われている中国人研修生問題などをレポートした。またパキスタン・セネガルの移住労働者が生の体験を語った。鳥井さんは「外国人を排除した今の労働運動では未来はない。差別を許さない原点を取り戻そう」と熱く語った。 <編集部>



研修生が働いていた縫製工場

講演の内容は、時給300円の外国人研修生の問題。外国人研修生とは、「研修生」(仕事を通じ技能習得させる)という名目で雇用することで、正規賃金を払わず、時給300円などの低賃金長時間労働を“合法”とする労務形態のことです。縫製ほか、製造業を中心に広く浸透しており、過酷な長時間労働、軟禁同然の寮生活などの実態が浮き彫りにされました。雇用側は中小零細の下請企業。大手が発注費を削減するので、人件費を切り下げなければやっていけない現実があるようです。

言うまでもなく、こうした不当搾取・低賃金労働は、時給300円ほど極端ではないにせよ、日本人の間にも存在します。昨今の非正規雇用の問題もそうですが、すべての問題の根幹にあるのは、「労働力は使い捨て出来、安ければ安いほど良い」という考え方であり、労費を下げて、一部のひとに莫大な富をもたらすグローバリズムの実態です。鳥井氏は「(時給300円労働は)労働の質を下げるという意

味で、絶対に許してはならないこと」と結論していました。

外国人女子研修生の間では、必ずといっていいほど、雇用者によるセクハラの問題があるそうです。これは、「ひとは時給300円の労働者を蔑むようになるから」(鳥井氏)。私が講演でもっとも印象的だったのがこの言葉です。確かに、人は心のどこかで、“安い人”を蔑むもの。そして、いつもいつも蔑まれていけば、やがて自分に自信のない人間になっていかなざるをえません。技能を修得する機会もなければ、低賃金に甘んじるしかない存在になるしかありません。これこそが低賃金労働の本質ではないでしょうか。

低賃金労働が人から奪っているのは、お金なんかじゃない、ひとの尊厳や価値そのものだと思います。言うまでもなく、ひとは皆、自分がしあわせになるために生まれてくるのであり、誰かの“食いもの”になるために生まれてくるわけではありません。労働の問題について考えるとき、私が強く感じるのはそんなことです。

< 4月例会 フランスCPE 反対闘争の現場から >

4月27日の例会(SKプラザ)には35人が参加したが、若い参加者が目立った。報告はフランスの郵便労組SUD-PTTのエルワン・ケレンさん。学生や労働者の強い反対で勝ち取ったCPE撤回の闘いの真髄にふれることができた。ディスカッションでは、特に学生を中心に力強い運動を組織することができた理由に質問が集中した。「フランスは例外ではない。新自由主義がもたらす窮乏化は抵抗を引き起こせざるをえない」というケレンさんの言葉が印象的だった。



SUD-PTTのエルワン・ケレンさん

<文化情報>

会周辺の仕事を中心に紹介します

評伝『ケーテ・コルヴィッツの肖像』

ドイツの反戦画家ケーテ・コルヴィッツの時代と生涯を描いた評伝『ケーテ・コルヴィッツの肖像』(志真斗美恵著)が刊行された。1867年に生まれ1945年に亡くなったケーテが描いたのは、ドイツの貧しい労働者の姿であり、革命であり戦争であり死である。その絵は深い悲しみに満ちている。しかし、それが悲しみだけに終わらず後世まで感動を呼び起こすのは、事柄と時代の本質が刻みこめられているからではないか。2500円・ビデオプレスで取扱中(TEL03-3530-8588)。



DVD&ビデオ『手をつなぐ人々~アメリカ・イラクの闘いをひとつに』



マブイ・シネコープの「イラク市民レジスタンス・シリーズ」の第3巻。イラクのサミールIFC議長が5月に行ったアメリカツアー。そこから見えてくる国際反戦運動の大き

なうねりを紹介している。イラク戦争で息子をなくしたシンディ・シーハンさんとサミール議長との出会い。最新映像でイラク反戦運動の今を描く。32分・3000円。TEL&FAX06-6786-6485

レイバーフェスタ2006の会場決まる

ことしのレイバーフェスタの会場が決まった。大阪は12月9日(土)エルおおさか南館ホール、東京は12月17日(日)東京ウィメンズプラザホールである。回を重ねることに充実してきたレイバーフェスタ。ことしはどんな企画が飛び出すか楽しみだ。昨年3分のビデオは大好評で、3月の「女たちの祭」や7月のサンフランシスコ・レイバーフェストでも上映された。ことしは、ビデオ制作者ネットワークVIDEO ACT!とも連携しながら3分ビデオ公募をすすめたい。いずれにしろ、中身をつくるのはあなた。みんなでレイバーフェスタ2006をつくっていこう。

『ひとのために生きよう!』

- 労働組合の原点

全国一般東部労組の石川副委員長が書いた『ひとのために生きよう! 団結への道-労働相談と組合づくりマニュアル』が刊行された。タイトルは「夜回り先生」として子どもたちの相談相手になっている水谷修のことばだ。はじめはピンとこなかったこのタイトルも「『ひとのために生きる』ことは、人間が社会的関係の中でしか生きられないためであり、他者との関わりによって唯一、人間らしく生きることが出来る」という石川さんの思いにふれて納得できた。これは労働組合の原点を語ることばだったのだ。1500円。

アスベスト公害を問う『明日をください』

写真家・今井明さんが『明日をください-アスベスト公害と患者・家族の記録』を発売した。たたかうアスベスト患者の表情と思い、歴史をやきつけた貴重な記録である。「有効な治療方法がない重い病気の原因が、3~40年前に吸ったアスベストだ、と知らされた驚きと絶望感。そして、ここに至るまで事態を悪化させてきた企業と国への怒りはいかばかりか。しかも多くの方は労災補償さえ受けていなかった」(本書より)。1500円・申込みは03-5627-6007。

<ネットの基礎知識>

メーリングリストの注意点

レイバーネットでは、情報交換・投稿の方法としてメーリングリスト(ML)という仕組みを使っています。MLとは、ある一つのアドレスに送信すると、本人を含めた登録者全員(275名)に一斉配信する仕組みです。レイバーネットの場合そのアドレスは、labor-members@labornet.jp.orgです。MLのメールはタイトルに[labor-members 1234]というのが必ず入ります。そのメールにそのまま「返信」すると、MLへの投稿ということになります。よく起きるミスは、MLメールと個人メールを混同して、個人宛に出したつもりがMLに出してしまうことです。送信する前に、宛先アドレスを何回も確認するクセをつけましょう。ラブレターをばらまかないためにも。

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本

郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-

403 レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org

電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578

年会費納入のお願い

期限が過ぎていた会員には振込用紙を同封しましたので、早急に年会費(個人・団体とも3,000円)の納入をお願い致します。(事務局)

(イラスト: 広浜綾子)

